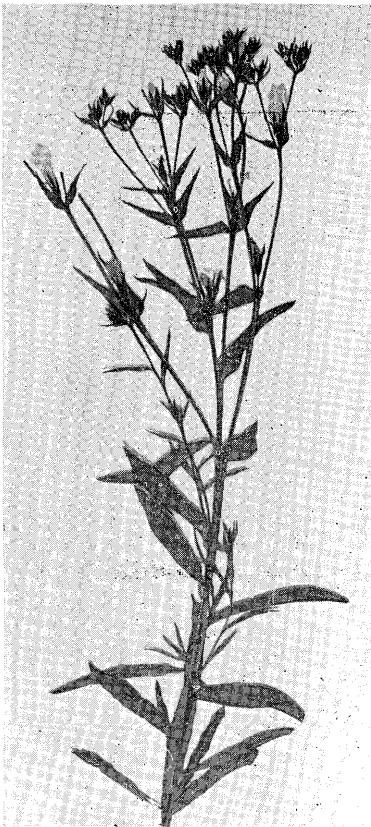


Field surveys were made twelve times from 1966 to 1969 except for the freezing season, January to April.

Among them *Ulothrix zonata* shows some variations in the cell size and the number of pyrenoids as shown in Table 2. The alga, which is identified with *Ankistrodesmus falcatus* var. *mirabilis*, has a very long cell, 2μ in diameter and 280μ in length. The alga is about two times longer than those described by Brunnthaler (1915) and Prescott (1951).

○*Linum flavum* にヤマブキアマの新称を提唱する (久内清孝) Kiyotaka

HISAUCHI: A new Japanese name for *Linum flavum* L.



Linum flavum L. ヤマブキアマ (新称)

1965年頃から一種黄色のアマを見ていたけれども、別に調べても見なかったが、昨年また東京附近の庭園でこれを見るようになったので、例の如く調べて見た。V. H. Heywood の *Flora Europaea* であたって見たら、この群は very difficult group と書いてあったので驚いた。したがって、われわれの手を出すべきものでないと思ったが、Hegi の絵を見たりしていたら *Linum flavum* L. としてもよいような自信ができたし、またときどきわが国の土に姿を現すので、余計なことながら和名を用意して見ようとしたが、私の予定した名は既に先行和名として *Reinwardtia* に用いられているので、やむなくヤマブキアマとした。つまり種名や、花の色が山吹色である点から思いめぐらした窮余の一策の名である。なおこの植物は、葉の基の所に一對の腺体を具えていて、日本で見ることのできる他のものには見られないので、かって Reichenbach 氏が別に属を作ったのもうなづける。花の大きさはペニバナアマと同じ位である。(東邦大学薬学部)